

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	コーラス1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回楽譜、歌詞を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	カニ（山田光世）、ゆうき（出口有季）		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
1. 3人～5人の少人数から10人、100人単位の規模の大きな合唱曲まで実演できるようになる。 2. 他人の声部をちゃんと耳でとらえながら、正しい音程をとりながらハーモニーを作っていくことが出来るようになる。 3. 卒業後の職業として、コーラスの仕事も見据え、ハーモニーを自分で考え、またオブリガードやウーアーも付けられるようになる。					
到達目標					
アカペラで演奏できるようになること。周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインをしっかりと聞き取れるようになること。ハーモニーラインを自ら考えられるようになること。この3つを目標として歌と向き合う授業になります。自身の頭の中で音を鳴らせるようになること、その音からハーモニーラインを考えることが出来るようになることを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	アカペラ・ゴスペルの既存の曲を歌う 邦楽、洋楽問わず、既存曲にオリジナルのハモを考えて歌う 基本的には耳で覚え、譜面上ではなく聴覚上でハモリを身につけていく				
注意点	邦楽に偏らず、広く洋楽も取り入れ、グルーヴ感も身に付けていくので、体を動かすことが必須の授業であり、仲間とのコミュニケーションを深める授業にあります。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・演技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	やさしい洋楽にふれてみる		ハモリを知る1 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good		
2回	男女に分かれての実習		ハモリを知る2 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good		
3回	男女混合の実習		ハモリを知る3 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good		
4回	邦楽の実習 ハモを感じながら歌う		ハモリになれる1 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand		
5回	邦楽の実習 男女に分かれての実習		ハモリになれる2 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand		
6回	邦楽の実習 男女混合の実習		ハモリになれる3 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand		
7回	邦楽の実習 フルの発表会		ハモリになれる4 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand		
8回	少人数のグループ実習		少人数で歌ってみる 復習 反復練習		
9回	リズムを感じながらの合唱		ハモリになれる5 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる		
10回	男女に分かれての実習		ハモリになれる6 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる		
11回	男女混合の実習		ハモリになれる7 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる		
12回	クラブなどリズムを強調して歌う		ハモリになれる8 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる		
13回	少人数のグループ実習1		少人数で歌ってみる 復習 反復練習		
14回	少人数のグループ実習2		少人数で歌ってみる 復習 反復練習		
15回	発表会		前期の総括、まとめ		